

# 日本にもリスクがある！？

## ～食料自給率と飢餓～

所属 B-3

### 1. 序論

私達は1年次、先行研究調査により、世界中で総億2000万人もの人が飢餓に苦しんでいること、世界中の多くの地域で飢餓が発生していることを知った2年次では世界規模での調査から、日本での飢餓リスクについて焦点を当てて調査を行っている。

### 2. 調査内容と調査方法

私たちは日本人の飢餓の認知度を調べるため、仙台第三高等学校の1年生2年生の全生徒を対象にアンケートを行なった。また、インターネットや書籍を参考にして飢餓と食料自給率との関係を調査した。

### 3. アンケート結果

#### 目的

日本人における飢餓の認知度について調査する

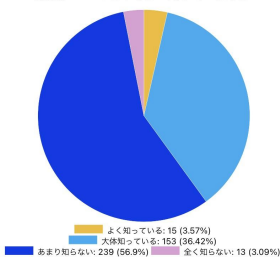
#### 対象

仙台第三高等学校1年生と2年生の全生徒640名  
(無回答未回収除くため結果とは誤差が生じる)

#### 内容

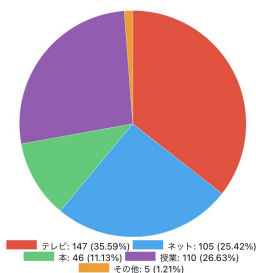
下記グラフに記載のため省略

飢餓についてどのくらい知っていますか



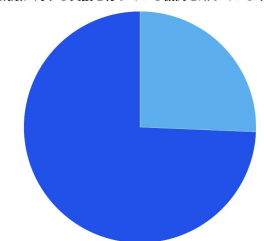
飢餓についての知識がある人は少数である。また、日本人の飢餓に対する危機感の低さを読み取ることが出来る。

飢餓について何で知りましたか



飢餓についての知識を自発的に得ている人は少なく、テレビやインターネット、授業など何らかの媒体を介して受動的に得ている人が多い。

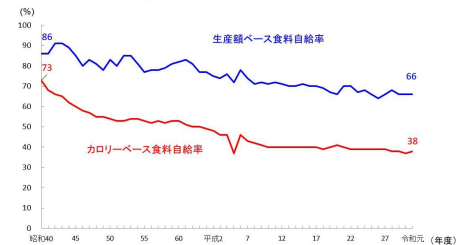
飢餓に対する支援を行っている機関を知っていますか



2つのデータより、支援を行っている機関の認知度は低く、支援の輪が広がらない原因となっていることが推測される。

### 4. 日本の現状

昭和40年度以降の食料自給率の推移



上記のグラフより、日本の食料自給率は年々減少傾向にあることが読み取れる。このまま減少を続けた場合、国際上の問題が発生して他国からの輸入に制限がかかった際に、他国からの輸入に頼っている日本は食料不足に陥る可能性がある。

### 5. 飢餓に関する対策

#### ①若者向けの職業訓練

- ・WFP(国連世界食糧計画)
- ・若者に職業訓練を行うことで様々なスキルを身につけて職に就けるように支援し、収入を得られやすくする。

#### ②共通農業政策

- ・イギリス(EU)
- ・EUではこの政策により30年で食料自給率が25%向上したというデータがある。

#### ③農業での縦空間利用

- ・シンガポール
- ・縦空間を利用することで効率良く生産が可能。
- ・日本の先進国ならではの技術を駆使することでさらに農業を工夫して行える。

### 6. 今後について

- ・日本独自の飢餓対策の考案
- ・学校教育における飢餓と食料自給率についての学習内容の考案

### 参考文献

なぜ飢餓が起こるの？

- ・[https://jifh.org/pdf/joinus\\_plan/plan07.pdf](https://jifh.org/pdf/joinus_plan/plan07.pdf)

SDGs目標2 飢餓を減らそう

- ・<https://sdgs.edutown.jp/info/goals/goals-2.html>

日本の「食料自給率」はなぜ低いのか？

食料自給率の問題点と真実

- ・<https://www.google.co.jp/amp/s/smartaagri-jp.com/agriculture/amp/129>